

R6 第1回 学校 評価(児童・保護者・教職員)の結果

※実践の程度は【よくできている】【だいたいできている】を合わせた数値

	No.	質問項目	児童	保護者	教職員
			実態の程度	働きかけの程度	実態の程度
やさしい子	1	楽しく学校に通っている。	94%	95%	100%
	2	自分からあいさつをする。（児童） 家族であいさつするよう心がけている。（保護者） 子どもは進んであいさつをしている。（教職員）	90%	96%	84%
	3	誰とでも仲良く協力する。	94%	94%	100%
	4	「ありがとう」などの感謝の気持ちを伝えあう。	95%	97%	84%
	5	学校の約束や決まりを守る。	90%	95%	95%
	6	家庭での役割を決めて、やり遂げる。（保護者） 当番活動（給食・掃除など）をやり遂げる。（児童・教職員）	96%	70%	95%
かしこい子	7	身の回りの整理・整頓をする。	84%	68%	67%
	8	進んで本を読む。（児童） 読書に親しむよう、働きかけている。（保護者） 読書の習慣が定着している。（教職員）	80%	61%	100%
	9	人の話をしっかり聞く。	94%	87%	89%
	10	自分の気持ちや考えをみんなに伝える。（児童） 授業中、進んで発表するよう励ましている。（保護者） 授業中、自分の想いを伝える機会をなるべく多く設けている。（教職員）	78%	66%	94%
	11	学校の授業がよくわかる。（児童） 学習の基礎基本が身に付くよう働きかけている。（保護者） 授業がよく分かるようにめあてを提示し、達成できたかを確認している。（教職員）	94%	83%	95%
	12	家で進んで宿題や勉強をする。（児童） 学習の習慣が身に付いている。（保護者・教職員）	88%	89%	100%
たくましい子	13	早寝早起きの習慣が身に付いている。（児童・保護者） 児童は時間を守る。（教職員）	76%	82%	89%
	14	好き嫌いなく食べる。	85%	83%	88%
	15	自分のいいところを知っている。（児童） 子どものよさを認め、褒める。（保護者・教職員）	80%	92%	100%
	16	困ったときには、先生に相談する。（児童・保護者） 児童に寄り添い、話を聞く。（教職員）	77%	94%	100%
	17	安全に気を付けて行動する。	83%	96%	95%
	18	積極的に外遊びやスポーツなどの運動をする。	95%	80%	100%
	19	いじめのない人権を尊重した教育を進める。（保護者・教職員）	—	94%	100%
	20	ホームページ・学校だより・学年だより・PTAからのおたよりなどにきちんと目を通している。（保護者） ホームページ・学校だより・学年だよりなどで学校の様子を分かりやすく伝えている。（教職員）	—	89%	95%
	21	子どもは学校であった出来事や自分の想いを家庭でよく話している。（保護者） 家庭に対し、子どもと会話する時間をもつことの大切さについて働きかけている。（教職員）	—	83%	73%
	22	子どもと会話する時間や家庭で過ごす時間を大切にしている。（保護者） 児童と関わる時間や心がリフレッシュする時間を大切にしている。（教職員）	—	90%	100%

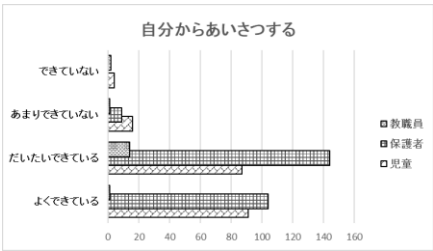
学校評価アンケートについて

R6 第1回学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。アンケート名が紛らわしいので「保護者が学校を評価する」と捉えておられる方もいらっしゃると思いますが、学校評価アンケートの主旨は「子どもへの関わりについて、教職員・保護者がそれぞれの立場から振り返る」ことです。「学校を評価する」ものではなく、子どもに対する関わりを学校・保護者それぞれが見直す目的で行っております。アンケート名については、全市統一での名称です。お知り置きください。また、この評価項目については、近隣の

桃山3校で内容を揃えて行っております。回答しづらい内容については桃山3校で見直しを計っていきたいと考えております。また、個別にお返事差し上げたい場合もありますので、お名前も書いていただけるとありがたいです。以下、主な成果と課題についてご報告いたします。

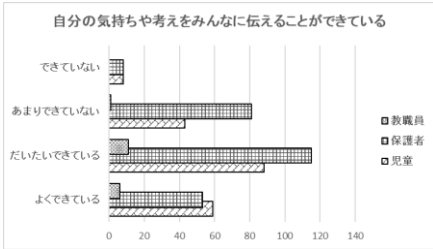
主な成果と課題

〈やさしい子〉NO.1～6



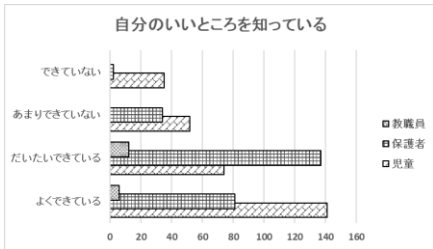
「やさしい子」を育むための取組について振り返った設問 No1～No6 では、全体的に実現度の高い結果となりました。児童・保護者・教職員ともに90%以上が「学校が楽しい」と感じており「目指す学校像」でもある『楽しく実りのある学校』を体現できていると感じます。また「挨拶」については例年、児童と教職員の実現度が低めの項目でしたが、今回のアンケートでは前年度に比べて実現度が上がっています。これは「たてわり活動」など異年齢集団での活動を取り入れ子ども同士が関わり合う時間を積極的に作ったことで、自然に挨拶し合える環境が出来上がってきた結果だと思われます。

〈かしこい子〉NO.7～12



「10. 自分の気持ちや考えをみんなに伝える（児童）、授業中進んで発表するように励ましている（保護者）」などの実現度は、本校では毎回満足度が低めですが、昨年度に比べると少しずつ実現度は上がってきています。授業中の発表にとどまらず、委員会やクラブ活動、たてわり活動、休み時間など学校生活全体の中で自分の思いや考えを発信していくことで、授業中にも自信をもって発言していけると考えます。引き続き、働きかけていきたい項目です。

〈たくましい子〉NO.13～18



「15. 自分のいいところを知っている（児童）」については、今年は第1回目アンケートから実現度が高めという結果が出ています。自分のよさに気づき自己肯定感を高めていくために、学校生活では周りのいろいろな人に認められたり褒められたりできる機会や経験を大切に進めてきました。これからの学校生活の中で、担任や友だちとの関わりだけでなく、学校全体の活動の中でも自己肯定感を高めていけるような取り組みを心掛けていきたいと思っています。

〈自由記述より〉

○「校外学習」について「高温・熱中症の危険を考慮して校外学習は6月から9月の間はやめてほしい。」というご意見がありました。涼しい時期に活動するのが望ましいのですが、以前までの「遠足」と違い、「校外活動」は学習活動の一環として行っておりますので、学習時期に合わせて活動を設定しております。授業で学習した内容を実際に見学・体験することで、知識を確かなものにしたり理解をさらに深めたりすることが目的です。休憩を多く入れ体力的に無理のないよう配慮して学習を行っていきますのでご理解いただけるとありがたいです。

○登下校についていくつかご意見をいただいております。大雨や雷など、天候による登下校の安全についても、天気予報を見ながら安全に配慮して適宜判断していきたいと思います。通学路の安全については、登校の見守りをしてくださっている学校安全ボランティアさん、スクールサポーターさん、登校に付き添っていただいている保護者の方から情報をいただくことも多く、これからも子どもたちが安全に登校できるように気を付けてまいります。ご協力ありがとうございます。

○連絡アプリ「すぐる」については、これからさらに活用しペーパーレスにおけて進めていきたいと考えています。試験的に学校だよりを「すぐる」配信にて行っておりますが、保護者様向けの配布物は徐々に「すぐる」に移行していきます。ただ、最終的におうちに持って帰るものでも、学習指導として使用するものや紙で配布・回収するものにつきましては、従来通り紙で配布させていただきます、ご了承ください。

○アンケートのご協力、ありがとうございました。第2回学校評価もどうぞよろしくお願いします。